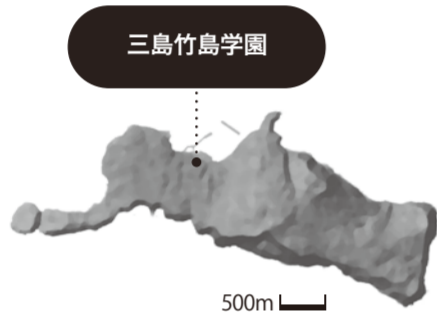


1960年頃

1980年頃

6



竹島地区七〇代男性
 この頃、大工だった島出身者が島の工事を下請けして、その工事は若者の収入源の一つでした。塀作りの時はコンクリートを練る重い道具を皆で人力で運んで大変でした。

思い出話

この頃、学校の正門も従来の危険な山道でなく舗装道路の方へ移動した。そして子供たちが舗装道路を使うように、ハマヒサカキの垣根をブロック塀にかえた。次第に山道の利用は減ったが塀の扉から港への道は長く使われたという。現在は学校の畑へ行く道となっている。

そうしたなか竹島は昭和四二年（一九六七年）までに五つの主要道路を整備している。また昭和四十年代後半から五十年代前期（一九七〇年～一九八〇年頃）までに集落の道幅を広げ、ほぼコンクリート舗装にしている。

学校の門（竹島の道）江戸や明治の頃、三島各島の道は竹やぶを人が二人並んで歩けるほどだったとされる。戦後、三島村は主要道路から開発を進める。戦後十年経った昭和三〇年（一九五五年）では、竹島港から集落の道は狭い急坂で、Z字型の石階段だった。石階段は足型に凹んでいたらしい。集落の小道はぬかるみやすい粘土質だった。

竹島

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
旧 4/21	旧 4/22	旧 4/23	旧 4/24	旧 4/25	旧 4/26	旧 4/27
6	7	8	9	10	11	12
旧 4/26	旧 4/27	旧 4/28	旧 4/29	旧 5/1	旧 5/2	旧 5/3
13	14	15	16	17	18	19
旧 5/4	旧 5/5	旧 5/6	旧 5/7	旧 5/8	旧 5/9	旧 5/10
20	21	22	23	24	25	26
旧 5/11	旧 5/12	旧 5/13	旧 5/14	旧 5/15	旧 5/16	旧 5/17
27	28	29	30	1	2	3
旧 5/18	旧 5/19	旧 5/20	旧 5/21			